

私の目指す



牧場はこれだ!



施設の機械化

例えば... 哺乳ロボットの利用を増やす

→ 子牛の体調管理 → 女性でもできる!



... 機械に乗って、除糞や農作業を

→ 女性の雇用を増やす → 畜産業に女性にもたずかわる!

新しい牛の導入

オーストラリアでは...
アングス牛、マリーグレー、ショートホーン
ほかに「ブラーマン」と言って高温地帯
も飼育できて、病気にも強い肉牛を多く
放牧してたよ!

日本でも外国種の飼育を
増やして、地形や気温に
あった種を飼育すると
育てやすいのでは?

消費者への理解

アンバサダー活動で畜産の魅力を発信!

その方法は... SNS!

例えば... 所属している畜産研究部酪農班での
取り組みを部活動生で協力して発信!!

実際にやってみた効果は?

ヘルパー育成事業の方や全国の牛好き高校生、農家さんからの
フォローをたくさん頂き、多くの人に情報が届いていることを実感!
ちなみにオーストラリアでは、レストランと工房があるお店で
VRを使った搾乳体験を行っていたよ! これを見て私は、日本でも
酪農教育ファーム以外のイベントで畜産体験ができると、子ども
も気軽に楽しめて、参加しやすい!と感じました。

大型商業施設
のイベントとか!

畜産ティーンで広げた視野や出会いをこれからも
もっと広く深くして、たくさんの事に挑戦していきたいです!